

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1 防犯活動の充実	②施策番号	4412
③まちづくりの方向〔政策（章）〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④基本施策〔施策大（節）〕	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	1 防犯対策の充実		
⑥担当部名	⑦担当課名		
健康福祉部	生活福祉課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	泉南市民
②意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	警察や周辺自治体、関係機関と連携しつつ、市民の防犯意識の高揚に努めるとともに、地域ぐるみの自主防犯体制を図る。
③環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	都市化の進展に伴う犯罪件数の増加や多様化する犯罪から市民を守るため、防犯パトロールなどの防犯体制の強化、及び街頭犯罪の防止のための防犯カメラの設置について関係機関と連携・調整を図ることが必要です。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	会議・活動等参加等延べ人数	人	市民の防犯への関心度を図る。
	計算式		
②	防犯カメラ設置及び設置補助金額	円	市民の防犯への関心度の向上及び犯罪の抑止
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	会議・活動等参加等延べ人数	人	目標値						
			実績値	432	483	409	—	—	
			達成率						
②	防犯カメラ設置及び設置補助金額	円	目標値						
			実績値	1,200	0	0	0		
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	防犯事業	会議・活動等参加等延べ人数	人	483	409	—	3,528	4,886	8,118	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						3,528	4,886	8,118			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市、防犯委員会、警察等が連携した街頭啓発の実施、防犯教室等の開催により、市民一人一人の防犯意識の高揚、地域の自主防災組織の確立支援が図れている。また、防犯カメラの設置推進により、街頭犯罪の抑止に寄与できている。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	街頭犯罪件数についても減少をめざし、警察や関係機関と連携を図っており、防犯活動には、ほぼ一定の市民参加がある。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	街頭犯罪件数についても減少をめざし、警察や周辺自治体、関係機関と連携し、犯罪の防止に努めている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	街頭犯罪件数についても減少をめざし、警察や周辺自治体、関係機関と連携し、犯罪の防止に努めており適正。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市、防犯委員会、警察等が連携した街頭啓発の実施、防犯教室等の開催により、市民の防犯意識の高揚が図れている。また、防犯カメラの設置推進により、街頭犯罪の抑止に寄与できている。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	A	犯罪のない安全な街づくりは社会共通の目的であり、引き続き事業の継続が必要。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	街頭犯罪の防止のため防犯カメラの設置が有効にはたらくため、泉南市内の設置個所について泉南警察署と協議を行い、今年度中に7か所の防犯カメラの設置を行う。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	街頭犯罪の防止のため防犯カメラの設置が有効にはたらくため、泉南市内の設置個所について泉南警察署と協議を行い、今年度から3年間で17か所の防犯カメラの設置を行う。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	施策指標とする各種防犯活動による取組が適切に実施されている。 関係機関との連携により、引き続き防犯活動充実に向けた取組を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある